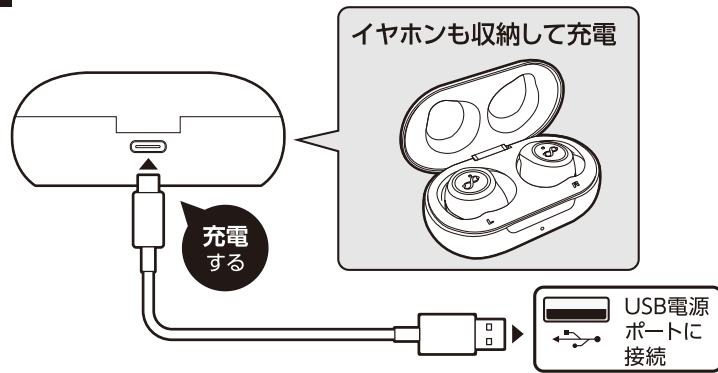


簡単

ペアリング接続ガイド

ご購入後初めて、Bluetoothフルワイヤレスイヤホンをご使用するにはスマートフォンとのペアリング接続操作が必要です

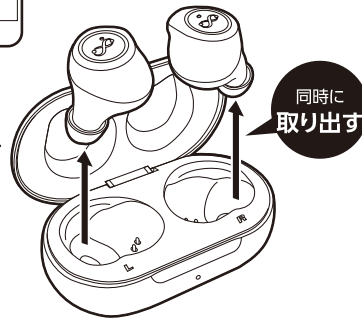
- 1** はじめに**充電クレードルとイヤホン**を**充電**してください。



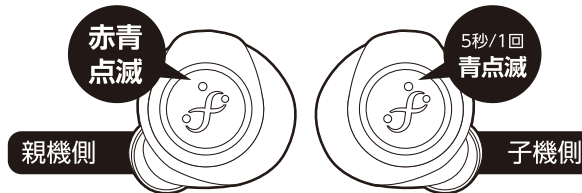
- 2** スマートフォンの**Bluetooth設定**を**ON**にしてください。



- 3** 充電クレードルのフタを開き、**L側イヤホン、R側イヤホン**を**同時に**取り出してください。
自動的に**イヤホンの電源がON**になり、**左右イヤホン同士が接続**します。



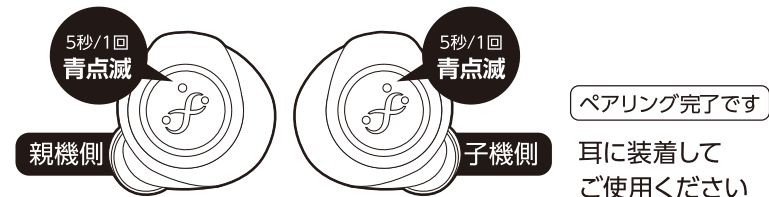
- 4** 左右イヤホン同士が接続されると**親機側イヤホン**のLEDが**赤青点滅**になり**子機側イヤホン**は約5秒間隔で**青点滅**します。



- 5** スマートフォンを操作して**「BS53」**を選択してください。

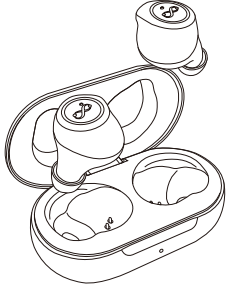


- 6** スマートフォンと接続されるとイヤホンのLEDが**約5秒に1回青点滅**します。



※さらに詳しいご使用方法に関しては、別紙の取扱説明書をご確認ください。

FULL WIRELESS STEREO EARPHONE



TBS53 Bluetooth フルワイヤレスイヤホン

安全上のご注意

本取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。また、ご使用になる接続機器の取扱説明書のBluetoothに関する項目もあわせてお読みください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。ここに記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただくため、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全上に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

- 被害事例：異常発熱・火災・感電・事故・損毀・破損・ケガ・熱傷など**
- 充電機器の正常動作を阻害する恐れがあるため、心臓ペースメーカーなど、電子機器を被覆した人、および他の電子機器へマグネットを近づけません。
 - 車の運転中は操作しない。
 - 分解・改造をしない。
 - 製品に金属などを押し込まない。接続端子を金属などでショートさせない。
 - 接続機器の取扱いに則して指示がある区域などでは、その指示に従う。
 - 湯水、温泉水、石鹸水、入浴剤などの入った水、海水などは付着させない。
 - 水浸しをしない。濡れた状態でも充電しない。
 - 規定の電圧以外の電圧で充電しない。
 - 使用前に各接続部を確認し、ホコリなどの付着や接続部の変形・破損したものは使用しない。
 - 電線には使用しない。
 - 直射日光の当たる場所、鏡器具などとのそばや、湿度の高い場所で使用・保管しない。
 - 乳幼児・小児の手の届く場所で使用・保管しない。
 - 使用しない場合、全ての接続箇所をはずし、安全な場所に保管する。接続したまま放置しない。
 - 充電ケーブルのケーブルを接続しない。
 - 充電器やイヤホンなどの電源端子同士を接続しない。
 - 使用時に接続部を確認してますぐ接続し、無理な力を加えて接続しない。
 - 火中に入らない。電子レンジ、オーブンなどで加熱しない。
 - 磁気的な力にさらされた、安全のため本製品が接続されている各機器にさわらない。
 - 暑い物を触れたり、落下しやすい場所、磁気、ホコリの多い場所に置かない。
 - 持ち入りの際は、各接続部を取りはずす。
 - 破れたら、交換をしない。
 - コネクタをはずす際は、コネクタ本体を持っておこなう。ケーブルを持って強く引っ張らない。
 - 内蔵電池が液漏れした場合、素手でさわらない。失明の恐れがあるため、液を目に触れないようにする。万一、液が目に入った場合は水道水の水で十分洗い、医師の診察を受ける。液が顔についていると長時間つけて聴くと聴力に影響を与える原因となります。
 - 本製品を手に装着し通話や音楽再生中、スマートフォンをポケットやバッグの中に入れても電波が遮断され、音が途切れる場合があります。
 - 本製品をポケットやバッグの中に入れて持ち運ぶ際は強い力が加わらないようにご注意ください。本製品の破損、故障の原因となります。
 - 本製品には電池が内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
 - 充電ケーブルの充電には、必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。
 - 充電端子に触れたり、クリップなどの金属を接触させないでください。感電やショートによる故障やケガの原因になります。
 - 充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。
 - 内蔵電池は交換できません。あらかじめご了承ください。
 - 内蔵電池が完全に放電していると、充電中の表示LEDが点灯するまでしばらく時間がかかる場合があります。
 - 内蔵電池の残量が少ない状態で使用すると、内蔵電池の性能を低下させる要因となる場合があります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。
 - 内蔵電池は自然放電するため、保管の際は約1ヶ月に1回は必ず充電してください。またご使用前には、充電してからご使用ください。
 - 本製品は完全防水ではありません。防水性能等級「IPX5準拠」
 - ご使用の際にはイヤホンおよび、充電ケーブルの紛失には充分ご注意ください。当社は、単品の販売をおこなっていません。
 - 本製品が濡れた場合、乾いた布でふき取ってください。シンナー、ペンジン、アルコールなどでふき取らないでください。本製品を傷める原因になります。
 - 本製品は内蔵電池、金属部品、プラスチックなどでできております。燃やすと危険ですので、廃棄する時は各自自治体の指示に従った方法で、正しく廃棄してください。

⚠ 注意 人が軽傷および物的損害を負う可能性が想定される内容

- 被害事例：異常発熱・火災・感電・事故・損毀・破損・ケガ・熱傷など**
- 充電端子充電部に水が付着させたり、結露した状態で使用しない。
 - 充電対象機器を充電中に、本製品や充電対象機器が極端に熱くなり異常を感じた場合は使用しない。
 - 5℃以下35℃の屋内環境で使用する。それ以外の環境では使用しない。
 - 30℃から40℃の屋内環境で保管する。それ以外の環境では保管しない。
 - グラブ部をアラロクし、電気配線機器（エアコン、磁気テープ、フライトカードなど）、メモリーなどの記録媒体に近づけない。
 - コネクタをはずす際は、コネクタ本体を持っておこなう。ケーブルを持って強く引っ張らない。
 - 内蔵電池が液漏れした場合、素手でさわらない。失明の恐れがあるため、液を目に触れないようにする。万一、液が目に入った場合は水道水の水で十分洗い、医師の診察を受ける。液が顔についていると長時間つけて聴くと聴力に影響を与える原因となります。
 - 本製品を手に装着し通話や音楽再生中、スマートフォンをポケットやバッグの中に入れても電波が遮断され、音が途切れる場合があります。
 - 本製品をポケットやバッグの中に入れて持ち運ぶ際は強い力が加わらないようにご注意ください。本製品の破損、故障の原因となります。
 - 本製品には電池が内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
 - 充電ケーブルの充電には、必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。
 - 充電端子に触れたり、クリップなどの金属を接触させないでください。感電やショートによる故障やケガの原因になります。
 - 充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。
 - 内蔵電池は交換できません。あらかじめご了承ください。
 - 内蔵電池が完全に放電していると、充電中の表示LEDが点灯するまでしばらく時間がかかる場合があります。
 - 内蔵電池の残量が少ない状態で使用すると、内蔵電池の性能を低下させる要因となる場合があります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。
 - 内蔵電池は自然放電するため、保管の際は約1ヶ月に1回は必ず充電してください。またご使用前には、充電してからご使用ください。
 - 本製品は完全防水ではありません。防水性能等級「IPX5準拠」
 - ご使用の際にはイヤホンおよび、充電ケーブルの紛失には充分ご注意ください。当社は、単品の販売をおこなっていません。
 - 本製品が濡れた場合、乾いた布でふき取ってください。シンナー、ペンジン、アルコールなどでふき取らないでください。本製品を傷める原因になります。
 - 本製品は内蔵電池、金属部品、プラスチックなどでできております。燃やすと危険ですので、廃棄する時は各自自治体の指示に従った方法で、正しく廃棄してください。

使用上のご注意

- 本製品は、運転中や周囲の音が聞こえないと危険な状況では、事故の原因となりますので、ご使用にならないでください。
- 本製品をご使用になる時は音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと聴くと聴力に影響を与える原因となります。
- ご使用になるアプリケーションやスマートフォンによっては本製品の各機能に対応していない場合や、対応しても相性により動作が不安定な場合があります。※アプリケーションごとの動作検証はおこなっておりません。
- スマートフォンのOSバージョンアップなどにより、接続不具合が生じる場合があります。※スマートフォンのOSに依存するため、本製品側では対応できない場合があります。
- 本製品のタッチセンサー部は人体以外に金属にも反応するため、誤動作の原因となりますので、イヤホンのタッチセンサー部を金属に触れさせないようにご注意ください。
- タッチセンサー部の誤動作を防ぐために持ち運びの際は、イヤホン充電クレードルに収納してください。
- イヤホンパッドを装着する際はサイズを確認して取り付けてください。万一、イヤホンパッドがずれずに目に残った場合、無理に取り出さないで医師の診察を受けるってください。
- 本製品を耳に装着し通話や音楽再生中、スマートフォンをポケットやバッグの中に入れても電波が遮断され、音が途切れる場合があります。
- 本製品をポケットやバッグの中に入れて持ち運ぶ際は強い力が加わらないようにご注意ください。本製品の破損、故障の原因となります。
- 本製品には電池が内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
- 充電ケーブルの充電には、必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。
- 充電端子に触れたり、クリップなどの金属を接触させないでください。感電やショートによる故障やケガの原因になります。
- 充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は内蔵電池の寿命です。
- 内蔵電池は交換できません。あらかじめご了承ください。
- 内蔵電池が完全に放電していると、充電中の表示LEDが点灯するまでしばらく時間がかかる場合があります。
- 内蔵電池の残量が少ない状態で使用すると、内蔵電池の性能を低下させる要因となる場合があります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。
- 内蔵電池は自然放電するため、保管の際は約1ヶ月に1回は必ず充電してください。またご使用前には、充電してからご使用ください。
- 本製品は完全防水ではありません。防水性能等級「IPX5準拠」
- ご使用の際にはイヤホンおよび、充電ケーブルの紛失には充分ご注意ください。当社は、単品の販売をおこなっていません。
- 本製品が濡れた場合、乾いた布でふき取ってください。シンナー、ペンジン、アルコールなどでふき取らないでください。本製品を傷める原因になります。
- 本製品は内蔵電池、金属部品、プラスチックなどでできております。燃やすと危険ですので、廃棄する時は各自自治体の指示に従った方法で、正しく廃棄してください。

Bluetooth 2.4GHz 電波について

本製品は、2.4GHz帯の電波を利用しています。電波の特性上、「信号機など交通信号システムが多く設置されている場所」、「Wifiアンテナが多く設置されている場所」、「消費電力が高い場所」での使用環境では通信が途切れたりする場合がありますが製品不良ではありません。

Bluetooth(Class2) 最大通信距離

本製品の通信距離は、見通し距離で最大約10mまで通信が可能です。※使用状況により通信距離が短くなる場合があります。

防水性能について

本製品は防水仕様（防水性能等級「IPX5準拠」）となっておりますが、多量の水濡れや水没など、取り扱っていない仕方によっては故障の原因となります。下記の注意をお読みになり正しくお使いください。

防水性能等級：IPX5とは
3mの距離から製品を全周1分30秒、12.5L/分・30kPaの条件下での直接噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。

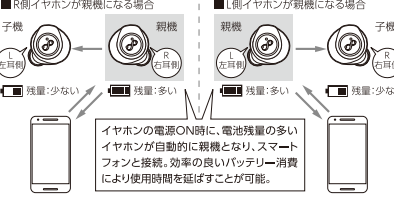
- 本製品は完全防水仕様ではありません。水濡れによる、シャワーにあたる、水に沈めるなどの行いは、故障の原因となるのでおこなわないでください。お客様の誤った使用が原因の水濡れによる故障の場合は保証外となります。
- 湯水、温泉水、石鹸水、入浴剤などが入った水、海水などは付着させないでください。
- マイクロ部に水が付着すると、音が伝わりにくくなる場合があります。付着した水気は、柔らかい布などで拭き取り、乾燥させてからご使用ください。
- 使用後は、乾いた布で水分を拭き取り、使用した場所で本製品を保管してください。
- 乾かすために高温のドライヤーを使用した時、暖房器具の前に置かないでください。
- 充電する場合は、本製品や手が濡れていることを確認してください。
- 付属の充電ケーブル、充電用USBケーブルは防水仕様ではありません。

ロールスワッピング機能

従来のフルワイヤレスイヤホンでは、左右のイヤホンに親機/子機が固定されているため電力消費の多い親機で早くバッテリー切れが起こります。しかしロールスワッピング機能搭載の本製品では、R側/L側両方のイヤホンが親機にも子機にもなることで、効率の良いバッテリー消費により使用時間を延ばすことができます。

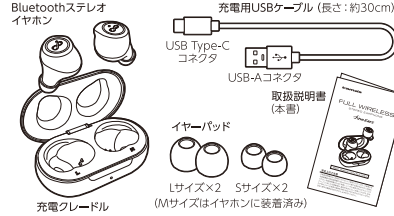


ロールスワッピング機能搭載イヤホン

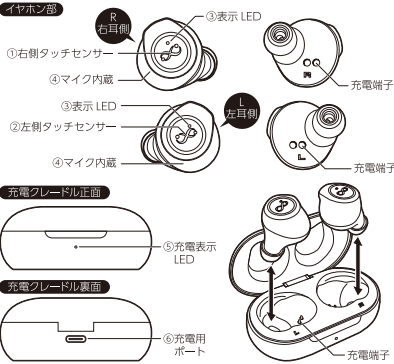


※一度も電源をOFFにすることなく連続で使用した場合、ロールスワッピング機能による親機/子機の入替えがされないため使用時間は短くなります。
※ロールスワッピング機能を有効に利用するためには、「使用中にR側/L側イヤホンを同時に電源ON(クレードルから取り出し)する必要がある」となります。

1. 梱包内容



2. 各部の名称と機能



充電クレードルにはリチウムイオンバッテリーが内蔵されています。充電クレードルが満充電状態の場合、イヤホンを最大約4回充電することができます。※使用状況により異なります。

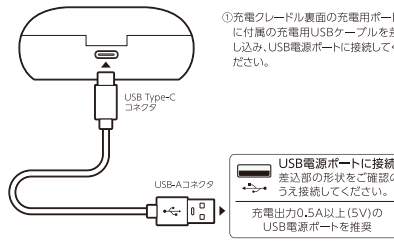
名称	機能
①右側タッチセンサー	電源演奏/再生/停止/曲送り/音量UP, 受話操作が可能です。
②左側タッチセンサー	電源演奏/再生/停止/曲戻し/音量DOWN, 受話操作が可能です。
③表示LED	状況に合わせて、LEDが点灯します。
④マイク	通話時の音声入力。
⑤充電表示LED	充電状況に合わせて、LEDが点灯します。
⑥充電用ポート	付属充電用USBケーブルを接続し充電できます。

※詳しい操作方法是本説明書裏面の各操作項目をご確認ください。

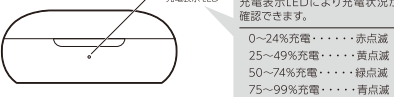
3. 充電方法

① コネクタは精密パーツです。着脱の際はコネクタを持って接続部をご確認ください。誤差におご注意ください。

充電クレードルの充電方法



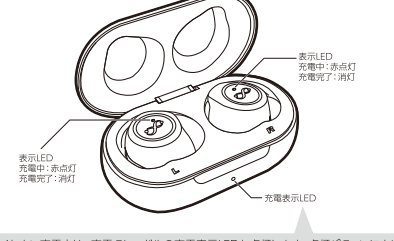
② 充電クレードルの充電中は充電表示LEDが点滅します。充電完了時には充電表示LEDが常時点灯します。
※充電クレードルを満充電にする時間は空の電池状態から約2時間です。
※充電クレードルにイヤホンを取り外して同時充電も可能です。



※本製品付属の充電用USBケーブルを他のUSB機器に接続しないでください。
※接続するUSB電源ポートにより充電完了にならない場合があります。
※充電完了後は必ず、全ての接続箇所をはずしてください。
※長期間使用しない場合は、約1ヶ月ごと充電してください。

イヤホンの充電方法

- ① 充電済みの充電クレードルにイヤホンを取るとイヤホンの表示LEDが赤点灯し、充電が開始されます。
- ② イヤホンの充電が完了すると表示LEDが消灯します。スマートフォンとの接続は、イヤホンの充電完了から約1.4時間です。



イヤホン充電中は、充電クレードルの充電表示LEDも点灯します。点灯パターンにより充電クレードルの電池残量状況が確認できます。

電池残量 100~75%.....	青点灯
電池残量 74~50%.....	緑点灯
電池残量 49~25%.....	黄点灯
電池残量 24~10%.....	赤点灯
電池残量 9~1%.....	赤点滅
電池残量 0%.....	消灯

イヤホンの充電が完了すると充電クレードルの充電表示LEDは消灯します。

① イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くると、イヤホンの電源がONになりますのでご注意ください。

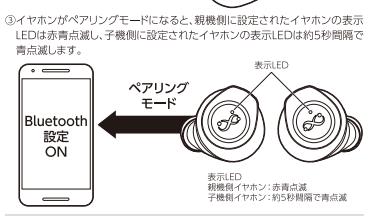
イヤホンが電源ONになると、接続可能スマートフォンが近くにある場合、イヤホンがスマートフォンと接続されます。イヤホンが電源ONになると、接続可能スマートフォンが近く無の場合、イヤホンは約5分間ペアリングモードになり、その後イヤホンの電源を自動的にOFFになります。イヤホン充電時の電池残量がなくなった場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン本体で電源操作をおこない、接続可能スマートフォンを接続して電源をOFFにしてください。また、スマートフォンとの接続を確認するためのイヤホンを使用しない時は、スマートフォン側のBluetooth設定をOFFにしてください。

4. スマートフォンとのペアリング・接続

初めてご使用の際は、スマートフォンとステレオイヤホンそれぞれ接続相手として登録(ペアリング)する必要があります。

- ① スマートフォンと充電済みの充電クレードルに収納したイヤホンを1m以内に置き、途中に障害となる物がないことをご確認ください。スマートフォンのBluetooth設定をONにしてください。
- ② 充電クレードルの蓋を開き、左右のイヤホンを同時に取り出してください。イヤホンの電源が自動的にONになります。

※本製品はロールスワッピング機能が搭載されています。左右のイヤホンの電池残量が多い側が親機に自動設定されます。



イヤホン電源ON後、下記ボイスアナウンスが流れます。
① R側/L側イヤホンから、「[マイクオン]ペアリング」の音声。
② イヤホン同士の接続後、R側イヤホンから、「[ライティングチャンネル]」の音声。
L側イヤホンから、「[リフトチャンネル]」の音声。

※一度ペアリングしたスマートフォンがBluetooth設定ONの状態に近いと、イヤホンがそのスマートフォンと接続を優先するためペアリングモードにはなりません。新たな機種とペアリングをおこなう際は常にペアリング済み機器のBluetooth設定をOFFにしてください。
※約5分以内にペアリングが完了できない場合、ペアリングモードが自動解除され、本製品の電源は自動的にOFFになります。



※スマートフォンにより設定方法が異なりますので、必ずスマートフォンの取扱説明書をお読みいただき、ご不明な点は各通信会社までお問い合わせください。

- ③ イヤホンとスマートフォンの接続が完了し、通信可能状態になるとイヤホンの表示LEDは約5秒間青点滅します。



スマートフォンと接続時、下記ボイスアナウンスが流れます。
R側/L側イヤホンから、「[コネクタ接続]」の音声。

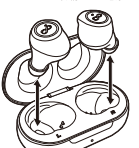
一度ペアリングをおこなえばスマートフォンやステレオイヤホンの電源を切ったりBluetooth機能をOFFにするなどして接続が切れた場合でも、次に使用する際に再度ペアリング操作をおこなう必要はありません。ただし、接続しついでに、自動で接続までおこなう機種と、スマートフォンによる接続操作が必要な機種があります。スマートフォンによる接続操作については、スマートフォン取扱説明書をご覧ください。

※以下の場合は再度ペアリングが必要になります。本製品は最大4台までのペアリング情報を登録できます。9台目のスマートフォンとペアリングをおこなうと1台目のペアリング情報が削除されたスマートフォンを接続する場合は、新たにペアリング操作をおこなってください。
スマートフォンから本製品とのペアリング情報が削除された場合、ペアリング情報が正しく認識できなくなった時、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合は、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して、再度ペアリングの操作をおこなってください。

※以下の場合は再度ペアリングが必要になります。本製品は最大4台までのペアリング情報を登録できます。9台目のスマートフォンとペアリングをおこなうと1台目のペアリング情報が削除されたスマートフォンを接続する場合は、新たにペアリング操作をおこなってください。
スマートフォンから本製品とのペアリング情報が削除された場合、ペアリング情報が正しく認識できなくなった時、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合は、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化して、再度ペアリングの操作をおこなってください。

5. 電源の入れ方、切り方

※下記の操作は充電済みの充電クレードルがおこなってください。
①充電クレードルのフタを開き、イヤホンを同時に取り出してください。イヤホンの電源が自動的にONになります。



① 充電クレードルの電池残量が無ければ・・・

※電池残量が無い状態の充電クレードルからイヤホン充し出しても、イヤホンの電源は自動でON/OFFしません。充電クレードルの電池が無い場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこなってください。

※ご購入後、初めて電源をONにした場合やBluetooth設定ON状態のペアリング済みスマートフォンが近くに無い場合などは、ステレオイヤホンは自動的にペアリングモード(LED赤青交互点滅)になります。

② イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなった場合は・・・

※イヤホン収納時に充電クレードルの電池残量が無くなると、イヤホンの電源が自動的にONになりますのでご注意ください。
※充電クレードルの電池残量が無くなった場合は、充電クレードルを充電するか、イヤホン単体で電源操作をおこなってください。
また、スマートフォンとの接続を断るためイヤホンを使用しない時は、スマートフォンのBluetooth設定をOFFにしてください。

イヤホン単体での電源の入れ方、切り方

- 左右イヤホンのタッチセンサー部をそれぞれ約3秒以上ロングタッチすると表示LEDが両点滅し電源がONになります。
- 電源を切る場合は、R側/側イヤホンどちらか片側のタッチセンサー部を約5秒以上ロングタッチしてください。表示LEDが赤点滅し、イヤホンの電源がOFFになります。



イヤホン電源ON後、下記ボイスアナウンスが流れます。

- R側イヤホンから、「パワーオン/ペアリング」の音。
- イヤホン同士の接続後、R側イヤホンから、「フライトチャンネル」の音、L側イヤホンから、「ステレオチャンネル」の音。
- スマートフォンと接続時、イヤホンから、「コネクティッド」の音。

イヤホン電源OFF後、下記ボイスアナウンスが流れます。

R側/側イヤホンから「パワーオフ」の音。

6. 電話操作

電話を受ける

- スマートフォンに着信したら、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。着信通話が始まります。
- 通話を終了するには、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。



どちらか片側の操作が可能

- ※ステレオイヤホンから聞こえる着信音は、スマートフォンに設定した音とは異なる場合があります。受け音を決定している場合も同様です。
- ※スマートフォン本体から着信音が鳴動するように設定している場合、ステレオイヤホンからは着信音が聞こえない場合があります。
- ※通話状態になると、少しタイムラグが発生する場合があります。
- ※縦観側のマイクが動作します。

電話をかける

- 電話をかけるには、スマートフォン側で発信操作をおこなってください。
- 通話を終了するには、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。



発信中はスマートフォン側でおこなう

- ※スマートフォンにより、自動的に本製品での通話が開始できない場合があります。その場合は発信後、スマートフォンを操作して音声通話を本製品に切り替える必要があります。スマートフォンの操作方法につきましては、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ※本製品の操作でスマートフォンとの音声通話の切り替えはできません。
- ※縦観側のマイクが動作します。

着信拒否

着信中に、タッチセンサー部を約1秒間、ロングタッチすると着信を拒否することができます。



着信拒否操作時には、下記ボイスアナウンスが流れます。

イヤホンから着信拒否操作時、「コールリジェクション」の音。

- ※着信拒否時の動作は、スマートフォンや設定により異なります。
- 例)着信を遮断する・接続できない旨のアナウンスが流れる・留守番電話サービスに接続するなど、詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- ※スマートフォンによっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。
- ※約5秒以上ロングタッチするとイヤホンの電源が切れますのでご注意ください。

音量UP

右側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒間、ロングタッチすると音量を上げることができます。



※スマートフォンやアプリによっては、音量設定が必要な場合があります。スマートフォンの音量設定方法につきましてはスマートフォンの取扱説明書やアプリの使用方法を必ずご覧ください。

音量DOWN

左側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒間、ロングタッチすると音量を下げるることができます。



※スマートフォンやアプリによっては、音量設定が必要な場合があります。スマートフォンの音量設定方法につきましてはスマートフォンの取扱説明書やアプリの使用方法を必ずご覧ください。

7. 音楽再生/オーディオビジュアル再生操作

スマートフォンが機器操作機能(AVRCP)に対応している場合は、ステレオイヤホンでスマートフォンの音楽再生(基本操作)ができます。また本製品は、SCMS-T方式で保護されたワンセグ/フルセグ音声にも対応しています。

- ※スマートフォンがA2DP・AVRCPプロファイルに対応していない場合はご使用できません。
- ※スマートフォンがSCMS-T方式に対応していない場合はご使用できません。
- ※スマートフォンによっては、全ての操作に対応しない場合があります。
- ※apt-X対応機器でご使用時に音声が聞こえない場合は・・・apt-XはSCMS-Tに対応していません。スマートフォン側でapt-Xを利用しない設定して再度接続をおこなってください。
- ※スマートフォンの設定により着信音がイヤホンから聞こえない場合があります。詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- ※スマートフォンによっては、通話終了後自動で音楽再生に戻らない場合があります。その場合は、スマートフォンで音楽再生をおこなってください。

音楽の再生/停止

- イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると音楽が再生されます。
- 再度、イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると音楽が停止します。



どちらか片側の操作が可能

音楽再生中に着信通話をする

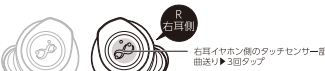
- スマートフォンに着信があると、音楽が一時的に止まり、イヤホンから着信音が聞こえます。
- イヤホンのタッチセンサー部を2回タップすると、通話状態になります。
- 通話を終了するにはイヤホンのタッチセンサー部を2回タップしてください。通話終了後、音楽再生に戻ります。



どちらか片側の操作が可能

音楽の曲送り

音楽再生中に右側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、次曲に曲送りができます。
※ワンセグ/フルセグ視聴時、上記操作でチャンネルを一掃することができます。



音楽の曲戻し

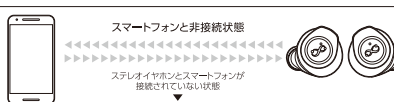
音楽再生中に左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、曲頭に曲戻しされます。
※ワンセグ/フルセグ視聴時、上記操作でチャンネルを一掃することができます。
続けて左側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップすると、前曲に曲戻しされます。



8. その他の機能

オートパワー-OFF

本製品にはオートパワーOFF機能が搭載されています。[音楽再生]/[通話]などで使用されない状態が約5分間継続されると本製品の電源が自動的にOFFになります。再使用する場合はイヤホンの電源をONにしてください。



※スマートフォンやアプリによっては、オートパワーOFF機能が正しく動作しない場合があります。

バッテリー-LOW警告

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下したイヤホン側の表示LEDが約20秒間隔で赤点滅します。バッテリーLOW警告が出た場合は必ず、充電をおこなってください。

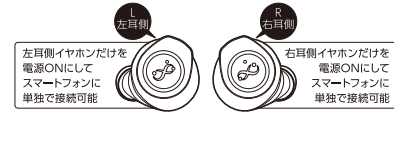


バッテリー-LOW警告時には、下記ボイスアナウンスが流れます。

内蔵電池の電圧が要充電レベルまで低下したイヤホン側から約20秒間隔で、「ローバッテリー-プリアラーム」の音。

R側またはL側イヤホンを単独で使用する

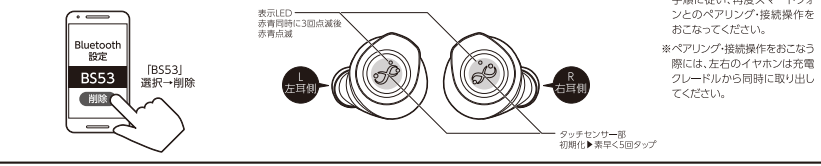
充電クレードルから片側のイヤホンだけを取り出して使用することができます。どちら側のイヤホンでも通話が可能です。
※音楽再生時の一部操作(音量UP/音量DOWN、曲送り/曲戻し)は使用するイヤホン側に設定された機能のみに対応されます。
※片側のイヤホンだけでスマートフォンに接続した時の音質はモノラル音質になります。



9. イヤホンの初期化(リセット)

ペアリング情報が正しく認識できなくなり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、スマートフォンからペアリング情報を削除し、本製品を初期化した工場出荷状態に戻し、再度ペアリングの操作をおこなってください。

- ①本製品の初期化操作前にスマートフォン側、Bluetooth設定から「B553」は、削除してください。
- ②ステレオイヤホンの電源を入れてください。左右イヤホンのタッチセンサー部をそれぞれ最早5回タップしてください。ステレオイヤホンが工場出荷時の状態に初期化されます。初期化後はイヤホンの電源をOFFにしてください。
- ③イヤホンを充電済みの充電クレードルに収納し、[4. スマートフォンとのペアリング-接続]の手順に従い、再度スマートフォンとのペアリング-接続操作をおこなってください。



動作・状態	操作方法	表示LED	ボイスアナウンス電子音
イヤホンの充電	イヤホンを充電クレードルに収納	充電中: 赤点滅 / 充電完了: 消灯	—
充電クレードルの充電	充電クレードルに付属の充電用USBケーブルを接続	0~24%充電: 赤点滅 / 25~49%充電: 黄点滅 / 50~74%充電: 緑点滅 / 75~99%充電: 青点滅 / 充電完了: 青点滅 ※クレードル部充電表示LED	—
電源ON	充電クレードルからイヤホンを取り出す / イヤホンのタッチセンサー部を約3秒以上タッチ	スマートフォンと非接続→ペアリングモード: 赤青点滅 / スマートフォンと接続→青点滅 (約5秒間隔)	「パワーオン」 / 「ペアリング」
電源OFF	充電クレードルにイヤホンを収納 / イヤホンのタッチセンサー部を約5秒以上タッチ	充電中: 赤点滅 / 充電完了: 消灯 / 赤3回点滅後、電源OFF	「パワーオフ」
ペアリング	初めてペアリングする機器の近く(約1m以内)でイヤホンの電源をONにする	親機側イヤホン / ペアリングモード→赤青点滅 / 子機側イヤホン / 青点滅 (約5秒間隔)	「パワーオン」 / 「ペアリング」 / 「フライトチャンネル」 / 「ステレオチャンネル」 / 「コネクティッド」
待受状態 (スマートフォンと接続時)	—	青点滅 (約5秒間隔)	—
スマートフォンとの接続が切断した場合	—	親機側イヤホン / ペアリングモード→赤青点滅 / 子機側イヤホン / 青点滅 (約5秒間隔)	「ディスプレイ」 / 「ペアリング」 / 「ディスプレイ」のボイスアナウンス後「ペアリングモード」 ※ペアリングモード約5分経過後電源OFF
再生 / 停止	タッチセンサー部を2回タップ	—	—
曲送り	R側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップ	—	—
曲戻し	L側イヤホンのタッチセンサー部を3回タップ	—	—
音量UP	R側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	—	「電子音」
音量DOWN	L側イヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	—	「電子音」
初期化	タッチセンサー部を最早5回タップ / ※イヤホンの初期化後は必ずイヤホンの電源をOFFにしてください	初期化後 赤青同時約3回点滅後、赤青点滅	「電子音」
バッテリーLOW警告	—	赤点滅 (約20秒間隔)	「ローバッテリー-プリアラーム」

■電話機能

動作・状態	操作方法	ボイスアナウンス
電話に出る	イヤホンのタッチセンサー部を2回タップ	—
電話を切る	イヤホンのタッチセンサー部を2回タップ	—
着信拒否	イヤホンのタッチセンサー部を約1秒タッチ	「コールリジェクション」

11. イヤホン部仕様

型式	B553	内蔵/バッテリー	リチウムイオンポリマー電池
通信方式	Bluetooth 5.0	充電時間	約1.9時間※
最大通話距離	見直し距離10m(Class2)	連続通話時間	最大約4.9時間※
対応プロファイル	HFP/A2DP/AVRCP	音楽再生時間	最大約5.5時間※
対応コーデック	SBC/AAC	サイズ(片側)	重量1.9×21.3×25.5mm
ケーブル接続	最大ペアリング登録数	重 量(片側)	約48g
動作周波数	2.4GHz~2.48GHz	材 質	ABS樹脂
IP等級(保護コード)	IPX4(IPX2)	※使用状況などにより異なります	

12. 充電クレードル部仕様

内蔵/バッテリー	リチウムイオンポリマー電池	サイズ	約W68×H28×D39mm
充電時間	約2.8時間※	重量	約30g
イヤホン充電回数	最大約4回※	材質	ABS樹脂
※使用状況などにより異なります			

13. USB Type-Cケーブル仕様

USB規格	USB-A to Type-C	重量	約13g
ケーブル長	約30cm	材質	PVC樹脂
ケーブル定規	DC5V 1A		

14. 保証規定

保証期間 / お買い上げ日より 6ヶ月

必ず、お買い上げ店舗のシールを/パッケージ、本保証規定書(取扱説明書)と一緒に保管してください。万一、修理の際は、現品と/パッケージ、本保証規定書(取扱説明書)と販売店のシールを添え、/パッケージ記載の当住所までお送りください。なお、修理後の保証期間の延長はいたしません。

●保証期間内は、/パッケージ、および本保証規定書(取扱説明書)記載の注意事項をお守りいただいた正しい使用状況で、万一故障した場合には本製品をお預かり後、無償で修理、または交換します。また、本製品の不良品に増殖し生じた、本製品以外の損害、異状、データ損失に限りましては、一切の補償をいたしかねます。また、代替品の送付などの対応はいたしません。

※次の場合は保証対象外となります。

- 1) 本製品(修理対象品)と/パッケージ、本保証規定書(取扱説明書)、およびシールの提示がおこなわれない場合。
- 2) 安全上の警告 / 注意に記載した事項をお守りいただけない場合。
- 3) 組立不良や正規販売店以外で、ご購入した場合。
- 4) 地震、火災、落雷、台風などの災害により故障した場合。
- 5) ご購入後、落下や衝撃などの事象が発生した場合。

●本製品や付属品を紛失・破損した場合。

●本製品のご使用が事故や法令違反の原因になりましても、一切の補償をいたしかねます。

●お預かりした製品が、保証対象外と認められる場合、修理費用等、実費負担をご請求させていただきます。

●本保証書は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

●お返送時にご記入いただいたお客様の個人情報は、商品の修理に際する連絡、修理・交換の対応以外の目的に使用いたしません。なお、上記利用目的の実施に必要な範囲で、業務委託先に委託することがありますのでご了承ください。